

みんなの

しみサポ



- NPO 法人フードバンクイコロさっぽろ
- 一般社団法人北海道ブックシェアリング
- NPO 法人 ezorock
- 札幌彫刻美術館友の会
- NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会

ここが知りたい！市民活動 Q&A
しみサポの本棚から
スタッフ推薦！しみサポ飯
お知らせ

#まちづくりの 登場人物を増やすには

#まちづくりの登場人物を増やすには

参加学生
和田 昂志郎さん

代表
片岡 有喜子さん

参加学生
奈良岡 千夏さん

「市民活動に興味を持つ人＝まちづくりの登場人物」を増やすことは市民活動を行う多くの団体にとって、課題とされています。

札幌市市民活動サポートセンターでは、市民活動に係る新たな担い手の発掘や、若年層の市民活動団体への参加促進などを目的に「NPO インターンシップ」という事業を行っています。今回は、実践者として活動を行う受入団体と登場人物の一人となった参加学生の対談をお届けいたします。

NPO 法人 フードバンク イコロ さっぽろ

「フードバンクの活動を始めた
ように思ったきっかけはなん
ですか？」

片岡 私の父は食品加工場がある高校の教員で、私も子ども頃はよくそこに遊びに行っていました。食肉が加工されていくのを見て、命をいただいていることを感じていた。食肉を捨てるといのが根本的にすごく嫌だったんです。結婚して出産後に勤めた事務所で、ある日突然事故にあたり病気になる方があるという現状を知りました。飲食店での勤務経験もあるのですが、当時毎日廃棄していた食べ物を必要な方につなぎ、お渡しする仕組みを作りたい、これからは自己実現というより、社会に何かを還元できる生活をしたと思うのがきっかけです。

奈良岡 私は食品ロスや気候変動など様々な問題を勉強し

ていますが、自分がそこにどうやって関われるかが一番難しく、勇気も力も必要だと感じています。片岡さんはそれを行動に移すことができたのがすごいと思いました。

片岡 活動を始める際に、まずフードバンクの本を読んだんです。そこに載っていた女性が自宅の一室から今はこんな大きな団体をやっています、というエピソードが何個もあり、それを見て「きっと私にもできる」と思ったんです。後から聞くと、そういう方々は大体ツテやつながりがある、フードバンクに入荷するものがちゃんとあったらしいんですよ（笑）

その時は、活動をやっていてるところを想像するとすごくワクワクして、楽しい気持ちになっちゃって、半年くらいで一気に団体をつくりました。結果的に今があるので、そういう勘違いをしてラッキーだったと思っています。勘違いも含めて、やれちゃうだろうって思えば、きっとできるんだろうなと考えています。

「いろいろな受入団体の中からイコロさっぽろを選んだのはなぜですか？」

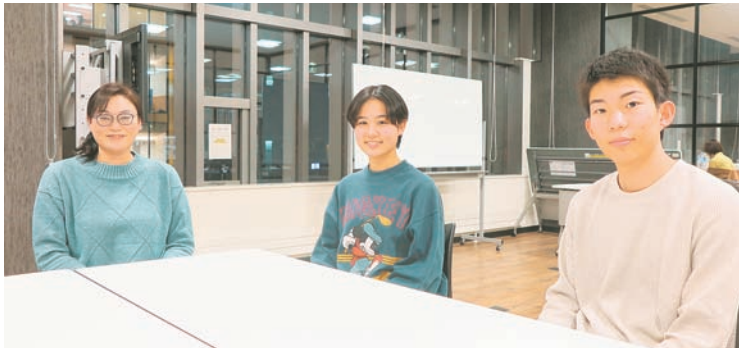
和田 自分はよく食べるんですけど、おなか空くのは誰でも嫌ですよ。食べるものが少なかったり、親御さんが無理や我慢をして子どもにご飯をあげたりしていると、精神的、肉体的に余裕がなくなっていて、どんどん追い詰められてしまうと思うんです。そういう人達を少しでも助けられたらいいなと思って選びました。

奈良岡 私は食品ロスに対する問題意識がもともとあって、「じゃあ余っているものを何かに使えばいいじゃん」と思っていたのですが、それが具体的にどのよう風に行われているのかわからずに行っていました。どんな人達が支援を必要としているのか、どのくらいの頻度で人をサポートするのが気になっていたのを選びました。

「NPO インターンシップでの活動と感じたことは？」

片岡 NPO インターンシップでの活動としては、0円マーケットと小包のパッキング作業や、施設を借りて実施した子ども食堂に来てもらいましたね。

奈良岡 パッキング作業の時は、食べ物だけを配ると思っ



実際にお子さんがいる家庭を見るとどう届いていくのか支援の実感ができました。(和田)

今後もフードバンクの活動をやってみたいと今すぐく思っています。(奈良岡)

ていたんですけど、服や靴などの衣類や日用品も並んでいて、想像していたフードバンクとは違う姿だなと驚きました。でも食べ物以外にも支援を上げていくのも大切だと思います。服を必要としている人は多いんですか？

片岡 衣料品を扱っている問屋さんから型落ちになったものなどをご厚意でいただいています。食べ物だけという当初の形から変わってきてはいるんですけど、喜ばれていて必要とされている方は多いと実感していますね。

和田 自分が気づかないところで支援を必要としている人がいて、そして余っているものがあるんですよ。企業やお店が物資を直接届けるのは難しいので、そこを仲介する組織がこれから重要になってくるんじゃないかと思いました。

片岡 子ども食堂の活動はどうでしたか？

和田 パッキング作業では、こういう家庭に届くのがイメージできていなかったのですが、実際にお子さんがある家庭を見るとどう届いていくのか支援の実感ができました。あと、子どもが可愛かったです！

奈良岡 子どもたちと遊ぶことで、自分がやっていることが子どもたちの楽しみになっ

ていると実感できて、達成感がありました。その反面、ひとり親で子育ても忙しくて、コロナで経済状況も大変な家庭が沢山ありますが、そのSOSが見えないのがもどかしいし、イコロさんのような団体でも、支援できるはずの人まで情報が届かないこともあるんだなと活動を通してすごく感じました。活動を継続することで見える景色も違うと思うので、今後もフードバンクの活動をやってみたいと今すぐく思っています。

片岡 普段行っている遠方への小包の発送と、実際に顔を見て直接お渡しできる0円マーケットと子ども食堂、特徴は違うけれど、どちらも大事にしていきたいと思っています活動です。

和田 こういったイベントの情報や活動はどうやって広めているんですか？

片岡 子ども食堂の初回は、開催場所の近隣小学校にチラシを配ってもらいました。初回以降は、その時の参加者に直接メールをしています。あとはホームページやSNSからイベント内容をシェアしてもらっています。

活動を始めたころは、いろいろなところに手紙を書いたりメールや電話をしたり、スパーに直接依頼をしたりして

いたんですけど、それでも半年くらいはなかなか協力が得られない時期が続いていたんですよ。でもそのうち新聞に取り上げていただいたりする中で、こういう団体があるんだ、とボランティアさんも増えてきました。みんなで決まっていこうぜみたいな、年代問わずやる気がある方たちがどんどん集まってきています。協力いただけたら、食品口を紹介してくれたり、食品口スが出そうな話を聞いたときに私を思い出して連絡をくれたり、人の縁がどんどん広がってきているのを感じます。



インターンシップでの食糧等を段ボールに詰めるパッキング作業の様子。

NPO法人 フードバンクイコロさっぽろ

代表 片岡 有喜子さん

参加学生 市立札幌開成中等教育学校5年生(高校2年生)
奈良岡 千夏さん 和田 昂志郎さん

🌐 <https://foodbank-ikorosapporo.themedia.jp>

✉ ikor.sapporo@gmail.com

📘 @ikor.sapporo

📷 @ikorosapporo

一般社団法人 北海道 ブック シェアリング

―活動を始めたきっかけはなんですか？

荒井 読書環境に限らず、住んでいる場所によってあらゆる知的資源にアクセスできる・できないの格差が大きくなってきた。もったいないですよね。地方だってそういったものに触れて世の中を変えたり、社会を変えたり、地域を変えたりする人はいっぱいいるわけですから。知的リソースにきちんとアクセスできるような社会をつくりたかった。読書環境を整える活動は海外だとイギリスの「ブックトラスト」という100年の歴史をもつ団体があります。国内ではあまり例がありませんが、北海道で生まれたということは大事にしたいなと思っています。

―NPOインターンシップでの活動内容は？

荒井 集まってきた本を整理し、クリーニング後に棚へ並べ、必要とする団体さんが来たら提供をするという定期活動、札幌駅前通地下歩行空間でやっているぶつくらぼステーション、それから江別市の大森銀座商店街で開催しているブックストリートの3つですね。

竹田・今野 そうですね。中でも定期活動は2、3回くらい行きました。

荒井 本当に率先して気が付いてくれるので、私もとても刺激になりました。課題意識を持っていて、こういう動きと仕上がりになるんだな。13年も活動していると、ついルーティンでやってしまうこともありますが、初めて参加して工夫している姿を見ると、まだまだ団体としての伸びしろがあるなということに気づきますね。

―活動を体験して思ったことは？

竹田 単発のボランティアは何回か経験したことはあったんですけど、NPO団体ってどんなところなのかな？と思っていました。いざ参加すると、良い意味で、特別なことをしているという感覚では

なく、週に1回行く習い事のような感覚に近いと思って。フラットで行きやすい、馴染みやすいというか。NPOだから敷居が高いというよりは、もうちょっと気軽に行ける場所だとわかりました。

今野 私はいろんな世代や年齢が違ふ人と交流する中で、ローカルな話ってあんまりしたくないということに気づきました。札幌に住んで札幌で活動している人達と一緒に札幌の話をしたり、特定の駅の周辺の話をしたり。学校ではグローバルな視点での学びもありますが、ローカルな視点を自分の中にもつことも必要だということを再認識することができました。

竹田 参加する前はブックシェアリングさんのことを知らなかったの、見つけるということがすごくネックでハードルなのかなと思っていました。広報活動はどのようにしているんですか？

荒井 定期的に新聞でボランティア活動の紹介を掲載してもらっています。活動のどの部分をどんな人にどう伝えるかが大事ですね。ただ気軽にボランティアに参加したいという方に「情報にアクセスする格差の拡大が懸念されている」と伝えても理解しづらいです。本を拭いてくれるボラ

ンティアが足りないんだよねとか、市民活動歴の長い人にはすぐに本質的なところを伝えるなど、ケースバイケースですね。アナウンスの手法は、いろいろ手を変え品を変えやっています。



一般社団法人 北海道ブックシェアリング

代表 荒井 宏明さん

参加
学生

市立札幌開成中等教育学校5年生（高校2年生）
竹田 真翔さん 今野 春子さん

🌐 <https://booksharing.wixsite.com/bookshare>

✉ hk_bookshare@yahoo.co.jp

📘 @HokkaidoBookSharing

📱 @h_booksharing



参加学生
今野 春子さん

私たちも受入団体です！

NPO法人 e z o r o c k

— NPOインターンシップでの活動内容は？ —

今年は、関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」という179市町村の各地域の方と自然体験やまちづくりに触れる活動や新割り体験などをメインに参加してもらっています。

— 若者を巻き込むために工夫していることは？ —

私たちの団体は北海道内のさまざまな大学と連携して、授業開始前の時間に直接学生さんに声をかける授業広報や実習の受入れを行っています。そこから継続的に参加してくれる方も多いです。他にもボランティア募集サイトなどに記事を記載しています。最近では、オンラインの活動も増え、道内外各地から参加してくれる方が増えていますよ。



団体の詳しい活動、
お問い合わせはこちら

札幌彫刻美術館友の会

— NPOインターンシップでの活動内容は？ —

主に彫刻の清掃活動への参加と彫刻美術館のお手伝いをしてもらっています。

— 活動を広めるためにしていることは？ —

最近では、若い人が目にしやすいところで興味を持っていただけるような戦略を考えています。北海道デジタル彫刻美術館という、30年間で集めた作品の情報をデータ化してHPにアップしたり、彫刻美術館の圖書の整理や、スクラップ記事のデジタル化をしたりしています。デジタル化によって検索しやすくなり、学生さんが美術館に訪れてレポートを書くなどのつかかりになれば良いなと思っています。



団体の詳しい活動、
お問い合わせはこちら

NPO法人 「飛んでけー車いす」の会

— NPOインターンシップでの活動内容は？ —

今年は車いすの整備や、英語が得意な方には団体HPの翻訳などをしてもらっています。

— ボランティアの方や、一緒に活動する仲間をどうやって増やしましたか？ —

新聞に取り上げていただいたりチラシを配ったり、WEBやFacebook、Twitterなどで意識的に外に向かって情報を発信するようにしています。チラシ一つとっても、どう気になってもうか、引っかかってもらうかが大事だと思います。また、実際にインターンやボランティアなどで活動した方が周りに伝えてくれるので、口コミの力も大きいですね。



団体の詳しい活動、
お問い合わせはこちら

／ ここが知りたい！ ／

市民活動

Q & A

最近寄せられた
市民活動に関する相談を
ご紹介します！

Q

question 運営しているNPO法人で自主制作した製品を商店街の店舗で販売したり、別の団体や会社との業務提携で販売したりすることを考えています。代表の方や担当者がとても信頼できるのですが、これから進めていくうえで、契約書などの取り決めは必要でしょうか。

A

answer



法人や団体が、その活動を行う上で、他の団体や関係機関と事業を進めることは多いです。こういった場合に、「契約書」まで作成することはまれかもしれませんが。

確かに、法律上、口約束で契約は成立します。

しかし、口約束のみですと、後になって、当事者間で約束内容の考えが異なったり、意見が対立する場合があります。トラブルが生じない対応は重要ですが、組織を運営する中で、将来の事態に備えた取り決めを行うことは、紛争の回避にもつながります。

そこで、契約書や合意書という形で、約束内容を明示する（文字

にする）必要が出てきます。

契約書や合意書などの文書を取り交わすことで、約束事項についての意見対立が回避できますし、紛争の予防にもつながります。

また、書面を準備（文字化）することで、相手方当事者との間で、将来どのようなことを行うか、どういったことを依頼・提供するかなど、具体的な内容を考えることに繋がります。

弁護士として契約書作成などに携わりますと、約束事項を検討する中で、組織のこれからの活動の展開や、将来像を考える機会にもなっていると実感します。



相談員プロフィール

今野 佑一郎

NPOのための弁護士ネットワーク所属。本業を生かし、諸団体の理事や会員として活動しながら、主に北海道内のNPOや市民活動、ボランティアの法的サポートを幅広く行う。

相談受付中！

shimi-sapo library



地域をまわって 考えたこと

小熊 英二 著
東京書籍 / 2019年

それぞれの地域のまちづくりの取り組みがインタビューを通じて、人を取り巻く社会関係とともに描写されています。一見すると異なる状況に見える地域の環境も、視点を一段階変えるとどこか共通点やつながりを感じさせられる本です。この本にあなたのまちづくり活動のヒントが載っているかもしれません。



田舎の未来

手探りの7年間とその先について

さのかずや 著
タパブックス / 2019年

遠軽町出身の著者が田舎について考え、実践してきた7年間で瑞々しい文体で綴られた一冊。田舎で働いて暮らしていくこと、その土地ならではのカルチャーをつくること、ローカルでの取り組みに試行錯誤する著者の姿に、共感を覚える方も多くは。まちづくりに携わる方、将来地元で貢献したい若者は必見です。

市民活動のヒントになる
スタッフおすすめの本棚から
書籍やDVDを紹介します

しみサポの本棚から



札幌エルプラザ情報センターのご案内

札幌エルプラザ1階にある情報センターでは、市民活動、男女共同参画、環境、消費生活に関する書籍や映像を開覧したり、借りたりすることができます。
マークのついているものは、情報センターで借りることができます。

■お問い合わせ / 011-728-1223

■開館時間 / 9:00 ~ 20:00

■貸出時間 / 9:00 ~ 19:45

オンライン読書会も
開催しました！

「地域をまわって考えたこと」「田舎の未来」をテーマに、読んだ感想をシェアする読書会をオンラインで開催しました。参加者同士で話し合うことで、新たな視点に気づくことができ、一人で読むより学びが深まりました。



所轄庁（札幌市）からの お知らせ



貸借対照表の公告をお忘れなく！

平成30年10月1日以降、資産の総額変更登記が不要となる代わりに、毎年、貸借対照表の公告を行うことがNPO法人に義務付けられています。

法人の定款で定める「公告の方法」に従い、忘れずに公告をしましょう。

詳しくは札幌市のホームページをご覧ください。

 <https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/npotaisyakutaisyouhyounokoukoku.html>

法人の事務所を移転したときは、法務局への移転登記と所轄庁への届出を行ってください！

登記している所在地から法人の事務所を移転したときは、移転した日から2週間以内に、法務局で変更の登記を行う必要があります。

また、所轄庁である札幌市（市民活動促進担当課）に、事務所所在地変更届をご提出ください。

なお、事務所所在地の変更に伴い定款変更が必要となる場合で、市外移転など所轄庁の変更を伴う場合には、定款変更の認証申請、市内移転のみで所轄庁の変更を伴わない場合には、定款変更の届出を行ってください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。



札幌市HP

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/npotaisyakutaisyouhyounokoukoku.html>



法務局HP

https://houmukyoku.moj.go.jp/homu/houjin4.html#f_heading3

移転登記に関するご問い合わせ先：
札幌法務局 TEL 011-709-2311（代表）

お問い合わせ先

 ☎ 060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市市民活動促進担当課
 ☎ 011-211-2964  ✉ shimin-support@city.sapporo.jp

NPO法人の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症関連情報

 <http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/npocoronakanrenjyouhou.html>

市民活動サポートセンターからの お知らせ

相談窓口のご案内

市民活動・NPOのさまざまなお悩みに相談員がお答えします。
すべての相談は無料です。（1回40分程度）

市民活動相談

活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーがご相談にお答えします。

毎週火・水・金曜日
15:00～17:15
第1・2木曜日 16:45～19:00

法律相談

「NPOのための弁護士ネットワーク」の弁護士が市民活動団体・NPO法人運営に関する法律のご相談にお答えします。

3月18日(木) 10:00～12:00
4月15日(木) 15:00～17:00
5月20日(木) 15:00～17:00

税務・会計相談

北海道税理士会所属の税理士が法人会計などのご相談にお答えします。

3月25日(木) 15:00～17:00
4月22日(木) 15:00～17:00
5月27日(木) 15:00～17:00

※税務・会計相談、法律相談は事前予約制です。予約は相談日の一週間前までにお願いいたします。

事務ブース入居団体募集中！

市民活動サポートセンターでは、支援の一環として市内を中心に活動する団体を対象に、簡易な事務スペースの提供を行っています。詳細については、センター窓口にてお問い合わせください。見学も受付中です！

しみサポフォーラム開催！

今回のテーマ「まちづくりの登場人物を増やす」と同テーマで、2月27日（土）にフォーラムをオンラインで開催します！地域に根付いた取り組みを行う市民活動の実践者が登壇し、事例紹介やトークセッションを行います。配信後は市民活動サポートセンター YouTubeチャンネルにて公開する予定です。

スタッフ推薦！ しみサポ飯

しみサポ飯
とは

食べることが大好きなしみサポのスタッフが、センターに近い飲食店をご紹介します。コーナーです。



札幌市市民活動サポートセンターのある札幌エルプラザから徒歩7分程度。『麺やハレル家』は和食職人さんが和の技法を駆使したラーメンを提供するお店です。貝出汁そば、青森シャモロックなど魚介系、動物系のスープを素材ごとに使い分け、麺もそれぞれのスープに合わせ数種を使い分けているこだわりよう。圧巻なのは13種の基本メニューに加えて登場する期間限定メニュー。季節に合わせた限定メニューが豊富でいつ行っても新鮮な一杯を楽しむことのできるお店です。センターで打ち合わせの後にはラーメンとともにその日の振り返り、なんてコースも良いかもしれませんよ。



や 麺やハレル家

北海道札幌市東区北7条東3丁目2-3

☎ 011-776-6216

営業時間：[月～金] 11:00～15:30
17:00～21:00

[土・日・祝] 11:00～20:00

🐦 @menyahareruya

編集後記

「市民活動」と聞くと難しく捉えがちですが、インタビューをととして各団体の活動や想い、実際に参加して登場人物への一歩を踏み出した学生の声で、まちづくりや市民活動を身近に感じていただくきっかけになれば嬉しいです。今回の取材はセンター職員としてどのようにお手伝いができるのかを考える時間になりました！
(記. 山下)



札幌市市民活動サポートセンター

(指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

☎ 060-0808 札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ公共4施設2階

☎ (011) 728-5888 📠 (011) 728-7280

アクセス：JR札幌駅北口より徒歩3分
(札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)



🌐 <https://www.shimin.sl-plaza.jp>

📘 <https://www.facebook.com/shimin.sl.plaza>

